

鵜鳥神楽保存会

(岩手県下閉伊郡 普代村)



出演日時：10/31 13:00～ 演目：山の神

普代村鳥居に鎮座する鵜鳥神社に伝わる山伏神楽です。鵜鳥神社の神霊を獅子頭に移した権現様を奉じて、毎年一月から三月にかけて三陸沿岸を巡行しています。巡行は、久慈市まで北上する北廻りと釜石市まで南下する南廻りを、隔年で務めてきました。

昼は家々を廻り権現舞によって門打ちを行なった後、民家や公民館を宿として舞い込み、夜は宿に権現様を祀って神楽幕を張り、各種の演目を人々に披露します。こうした上演形態は全国的に見ても稀有で平成27年に国の重要無形民俗文化財に指定されています。

赤い山の神面、鳥兜、ぬぎだれ、二重襷、指に手ちがい、腰に太刀、背に幣束を差した山の神が勇壮に舞います。米を四方と見物の人々にまき、五穀豊穡を祈願する舞です。その後、面をはずして「山の神の本地」が語られ、錫杖と幣束の舞を行います。